



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社
 コード番号 5742 URL <http://www.nic-inc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 西川浩司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,915	13.9	223	61.7	225	71.1	151	72.6
29年3月期第1四半期	1,681	24.7	138	32.0	131	24.2	87	26.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 172百万円 (172.4%) 29年3月期第1四半期 63百万円 (26.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	27.86	
29年3月期第1四半期	16.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	7,695	4,165	54.1
29年3月期	7,214	4,157	57.6

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 4,165百万円 29年3月期 4,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		30.00	30.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		32.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,020	13.4	390	6.5	390	8.7	260	8.1	47.71
通期	8,348	3.2	849	2.0	849	1.9	561	1.9	103.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

本日別途公表した、「平成30年3月期第2四半期(累計)業績予想の修正に関するお知らせ」にて、第2四半期累計期間の業績予想を修正しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	5,500,000 株	29年3月期	5,500,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	51,371 株	29年3月期	51,274 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	5,448,668 株	29年3月期1Q	5,448,759 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. その他	10
(1) 受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や企業収益の改善等によって、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、海外における政治動向や地政学的リスクの高まり等が懸念されることより、依然として先行き不透明感を払拭できない状況で推移いたしました。

このような状況のもと、引き続きF A装置（F A：Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。）及びロボット関連機器等に使用される当社主力製品「アルファフレームシステム」の受注を確保し、特に有機ELやLCDといったフラットパネルディスプレイ（以下、「FPD」という。）製造企業への供給が、順調に推移いたしました。また、F A装置においては、国内外の自動車部品製造企業向け洗浄装置や検査装置、FPD製造企業向けの大型カスタムクリーンブース等、当社グループの技術力を活かした提案型営業活動を展開し、受注を確保いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,915百万円と前年同四半期と比べ234百万円（13.9%）の増収、営業利益は、223百万円と前年同四半期と比べ85百万円（61.7%）の増益、経常利益は225百万円と前年同四半期と比べ93百万円（71.1%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、151百万円と前年同四半期と比べ63百万円（72.6%）の増益となり、当社グループが連結決算となってからいづれも同期間において2期連続で最高値を更新する結果となりました。

なお、前連結会計年度に掲げた中長期経営計画（5カ年を期間として、その最終連結会計年度における売上高・事業規模を倍増する計画）の一環として、装置事業の拡大を担う重要な拠点として建設に着手した立山事業所（富山県中新川郡立山町）は、本年6月に完成し、7月より稼働を開始いたしました。

また、関東を中心とした東日本のお客様へのサービス向上、および海外のお客様からのニーズにも迅速にお応えできる体制構築の一環として、「アルファフレームシステム」の出荷センターとして開設したアルファフレーム北関東（埼玉県児玉郡神川町）も同時期に稼働を開始いたしました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用し、アルミニウム合金製構造材の付加価値を高めることで、競合他社と差別化を図った提案営業を継続的に展開いたしました。

中でもFPD製造設備向けの需要が伸長し、高水準で受注を確保いたしました。さらに、半導体製造設備向けの受注も同様に、前連結会計年度からの高水準を維持しております。

その他の一般産業向け設備に関する受注案件は、設計サポートサービス「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用しての受注が前連結会計年度の下半期より高水準を維持いたしております。なお、これらは第2四半期以降においても受注、売上高ともに順調に推移するものと見込んでおります。

この結果、当部門の売上高は1,283百万円（前年同四半期比136.5%）となりました。

[装置部門]

装置部門におきましては、引き続き当社の技術力を活かした質の高いF A装置の提案活動を推進し、当第1四半期連結累計期間では、前連結会計年度より引き続き自動車部品製造企業向けの洗浄、検査、試験等の単体設備、およびFPD製造企業向けクリーンブース案件を継続受注いたしました。ただし、前連結会計年度末の駆け込み納入の反動により、期初の納入が減少する結果となりましたが、今後の受注状況は安定的に推移する見込みであります。

この結果、当部門の売上高は359百万円（前年同四半期比77.3%）となりました。

[商事部門]

商事部門におきましては、工業用砥石、油脂類等の消耗品関係につきまして、安定的な受注が続いており、機械設備関係の受注も、前連結会計年度と同水準にて推移いたしております。

この結果、当部門の売上高は272百万円（前年同四半期比98.9%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前期末と比べ480百万円増加し、7,695百万円となりました。これは主に、電子記録債権が377百万円、仕掛品が262百万円、原材料及び貯蔵品が131百万円、建物及び構築物（純額）が684百万円、それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が842百万円、建設仮勘定が272百万円、それぞれ減少したことなどによります。

負債は前期末と比べ472百万円増加し、3,529百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が133百万円、設備関係支払手形が464百万円、短期借入金が150百万円、それぞれ増加した一方で、電子記録債務が69百万円、未払法人税等が137百万円、それぞれ減少したことなどによります。

純資産は前期末と比べ8百万円増加し、4,165百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上151百万円があった一方で、配当金の支払い163百万円があったことにより、利益剰余金が11百万円減少したこと、その他有価証券評価差額金が19百万円増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前期末と比べ8百万円増加し、317百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の159百万円のキャッシュ・インに対し、61百万円のキャッシュ・インとなりました。これは税金等調整前四半期純利益の計上による資金の増加225百万円や売上債権の減少による資金の増加467百万円並びに仕入債務の増加による資金の増加64百万円などの資金の増加があった一方で、たな卸資産の増加による資金の減少467百万円や法人税等の支払いによる資金の減少199百万円があったことが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の19百万円のキャッシュ・アウトに対し、43百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは有形固定資産の取得による支出が40百万円があったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の116百万円のキャッシュ・アウトに対し、8百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは短期借入金による収入150百万円があった一方で、配当金の支払いによる支出が158百万円あったことなどが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、本日別途公表いたしました「平成30年3月期第2四半期（累計）業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、当初の予想を上回る状況にありますが、平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点において、平成29年5月12日付の「平成29年3月期決算短信（連結）」にて公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、今後の経営環境及び第2四半期連結累計期間の実績を踏まえて再考し、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	308,801	317,493
受取手形及び売掛金	2,427,361	1,584,562
電子記録債権	896,779	1,274,156
商品及び製品	189,934	264,181
仕掛品	438,044	700,625
原材料及び貯蔵品	329,197	460,350
その他	81,775	111,546
貸倒引当金	△323	△288
流動資産合計	4,671,571	4,712,627
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,874,863	2,572,629
減価償却累計額	△1,169,626	△1,183,358
建物及び構築物（純額）	705,237	1,389,270
土地	535,874	535,874
その他	1,090,210	827,317
減価償却累計額	△517,019	△521,425
その他（純額）	573,190	305,892
有形固定資産合計	1,814,303	2,231,038
無形固定資産		
その他	58,093	54,446
無形固定資産合計	58,093	54,446
投資その他の資産		
その他	672,771	699,477
貸倒引当金	△1,781	△1,781
投資その他の資産合計	670,990	697,696
固定資産合計	2,543,387	2,983,181
資産合計	7,214,958	7,695,808

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	928,466	1,062,051
電子記録債務	845,546	776,323
設備関係支払手形	270,000	734,400
短期借入金	—	150,000
1年内返済予定の長期借入金	38,000	38,000
未払法人税等	220,755	83,235
賞与引当金	99,964	136,403
製品保証引当金	1,462	1,421
その他	299,171	193,680
流動負債合計	2,703,367	3,175,514
固定負債		
長期借入金	62,000	62,000
退職給付に係る負債	192,606	196,763
その他	99,837	95,580
固定負債合計	354,444	354,343
負債合計	3,057,811	3,529,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	145,608	145,608
利益剰余金	3,782,177	3,770,553
自己株式	△34,529	△34,723
株主資本合計	4,049,356	4,037,539
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96,538	115,910
為替換算調整勘定	10,773	12,038
その他の包括利益累計額合計	107,312	127,948
非支配株主持分	478	463
純資産合計	4,157,147	4,165,950
負債純資産合計	7,214,958	7,695,808

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,681,622	1,915,891
売上原価	1,272,045	1,402,454
売上総利益	409,576	513,436
販売費及び一般管理費	271,265	289,736
営業利益	138,311	223,700
営業外収益		
仕入割引	1,385	2,166
受取保険料	700	—
その他	343	372
営業外収益合計	2,428	2,539
営業外費用		
支払利息	—	174
手形売却損	113	—
電子記録債権売却損	9	41
為替差損	7,833	289
その他	880	11
営業外費用合計	8,837	516
経常利益	131,902	225,723
税金等調整前四半期純利益	131,902	225,723
法人税、住民税及び事業税	52,207	77,576
法人税等調整額	△8,272	△3,673
法人税等合計	43,935	73,903
四半期純利益	87,966	151,820
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△17
親会社株主に帰属する四半期純利益	87,966	151,837

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	87,966	151,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,115	19,371
為替換算調整勘定	464	1,266
その他の包括利益合計	△24,650	20,638
四半期包括利益	63,316	172,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,316	172,474
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△15

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	131,902	225,723
減価償却費	31,196	38,212
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△34
賞与引当金の増減額(△は減少)	31,438	36,438
製品保証引当金の増減額(△は減少)	27	△41
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9,958	4,157
受取利息及び受取配当金	△263	△231
支払利息及び手形売却損	—	216
売上債権の増減額(△は増加)	17,115	467,635
たな卸資産の増減額(△は増加)	△196,335	△467,663
仕入債務の増減額(△は減少)	223,477	64,361
未収消費税等の増減額(△は増加)	△15,272	△34,123
為替差損益(△は益)	7,833	497
その他	46,939	△73,827
小計	288,018	261,322
利息及び配当金の受取額	166	147
利息の支払額	—	△216
法人税等の支払額	△129,110	△199,701
営業活動によるキャッシュ・フロー	159,074	61,552
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,443	△40,291
無形固定資産の取得による支出	△3,334	—
投資有価証券の取得による支出	△1,200	△1,200
その他	—	△1,998
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,978	△43,490
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	150,000
自己株式の取得による支出	—	△193
配当金の支払額	△116,349	△158,358
財務活動によるキャッシュ・フロー	△116,349	△8,552
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,109	△817
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	18,636	8,691
現金及び現金同等物の期首残高	252,781	308,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	271,417	317,493

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 受注及び販売の状況

① 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	1,546,284	117.3	1,923,436	171.7
装置部門	407,315	63.5	609,947	120.8
商事部門	373,635	132.5	247,154	130.3
合計	2,327,235	103.8	2,780,538	153.2

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
アルファフレーム部門	1,283,667	136.5
装置部門	359,864	77.3
商事部門	272,359	98.9
合計	1,915,891	113.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。